

本日、東京都立三田高等学校全日制課程、百周年記念式典にあたり、ご多用の中、ご来賓の方々のご臨席と、同窓会、後援会、保護者の皆様のご列席を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

本校は「教養・探究・立志そして世界へ」のスローガンの下、主体的な学びを通して、自ら考え課題解決を図り、イノベーター(革新者)としてすすんで国際社会で貢献できる人間の育成を目標に掲げ、多彩な人材を送り出してきました。また、海外との交流の機会を多く設け、さまざまな国との文化交流を通して、国際理解教育を推進し、新しい発想の大切さと日本の文化の美しさを実感し、伝統校として実績をあげ、現在も成長を続けています。創立100周年を迎えたことで、新しい次の100年への第一歩がスタートしました。私たち教職員は、生徒の皆さんと共に、新しい歴史を創造していきたいと考えています。

時代の変遷とともに、社会の求める人物像は変容し、学校の役割は変化しています。社会すべてに渡って変革が求められ、そして、変革のためには手だてが重要となります。しかしながら、手だてそのものが重要なのではなく、志を立て自分の目指す道を意欲的に進むためにどのような道筋をたどっていくかということのために、手だてがあるのだと思います。学びの場を共有し、様々な考えをお互い示し合い、時に討論し、時に同意する情熱あふれる高校生活の時間ほど有意義なものはありません。本校においては、そうした脈々とした流れがあり、お互いを尊重しつつ、「チーム三田」として常に先進的な実践があり、この結果として100年の伝統が培われてきたのだと実感します。学ぶことは哲学することであると考えます。哲学、即ち生きる道を探すことであります。人文科学、社会科学、自然科学を問わず、凡てにおいて然りだということは、本校において、文理を問わず探究活動に熱心に取り組む生徒の姿を見ることで、改めて気づかされます。

生徒諸君、諸君は東京都立三田高等学校の生徒として、誇りをもち、自由あふれる高校生活を謳歌してください。自由には責任を伴い、自由には時に苦しみを伴います。そして、学びを通して得られる発想の自由には明日の日本を支える輝かしい未来があります。百周年を迎えた本校には、そのことを育てる豊かな土壌があります。諸君、一人一人が明日を支える人材であるという自覚のもと自信をもって行動しましょう。輝かしい未来がそこにあるのです。

本校が次の100年に向かってより良い歩みが踏み出せるよう、生徒・教職員一丸となって「チーム三田」として、そして「三田スタイル」を確立しつつ「教養・探究・立志そして世界へ」の理念がより一層発展できるよう取り組んで参りたいと存じます。結びに、本日ご臨席いただきましたご来賓、同窓会、後援会、保護者の皆様のご健康とご活躍を祈念しますとともに、これからもこの三田高校をご支援いただけますようお願い申し上げます、式辞といたします。

令和5年6月9日

東京都立三田高等学校長
内田 隆志